

教育実践

ローンチ・シンポジウム Ver2

Launch Symposium on Education Practices in Shiroishi City

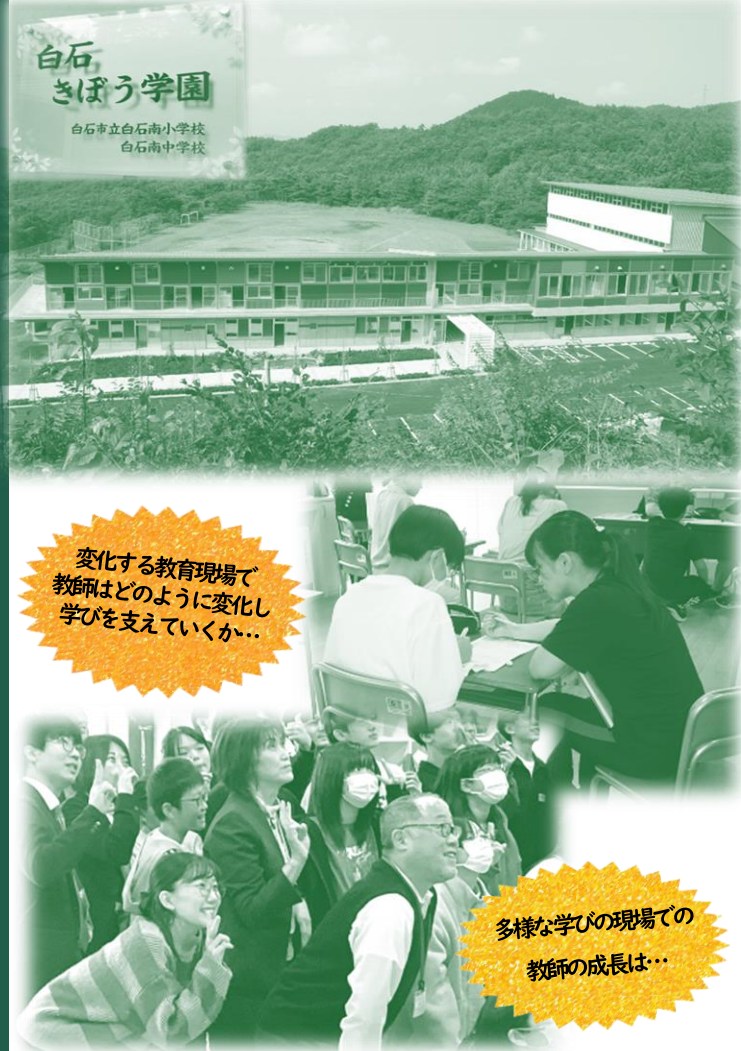
教師の可能性を引き出し、成長・創造し続ける…
— 白石きぼう学園の「キセキ」 —

開校2年目となる学びの多様化学校「白石南小学校・白石南中学校（通称：白石きぼう学園）」には日々多くの児童生徒が連続して休むことなく通っています。児童生徒数も昨年度の18名でのスタートから現在では35名が在籍しています。

「学びの多様化」が進む今、教師の役割は大きく変化しています。子ども一人ひとりの個性や学び方を尊重し、多様な学びの機会を提供する。それは、教師にとっても大きな挑戦であり、同時に成長の機会です。従来の教育だけではなく、子ども一人ひとりの興味関心や個性に合わせた多様な学びが求められている時代だからこそ、教師も変化を恐れずに、新しい学び方を学び、実践していくことは必要です。

本シンポジウムでは、変化する教育現場で、教師がどのように変化し、子どもたちの学びを支えているのか!? 多様な子どもたち、多様な学びに対応するためには、教師はどう変わっていくべきか!? 多様な学びの現場で、教師はどう成長できるのか!?

この問いを基に、これからの教育を共に考えていきましょう。



変化する教育現場で
教師はどのように変化し
学びを支えていくか…

多様な学びの現場での
教師の成長は…

プログラム（裏面詳細）

氏名：敬称略

【第一部】 一基調講演—

開校当初より白石きぼう学園の先生方を対象に調査研究を進めてきました。大変興味深い研究内容・結果等をお伝えします！

- 「きぼう」をつむぐ教師たち
・岩手大学教育学部 准教授 本山敬祐

【第二部】 一実践発表—

（文部科学省：学びの多様化学校の教育の充実に関する調査研究委託）

学校のコンセプトである「学校らしくない学校」について…、その2年目の取組を紹介します！

- 「学校らしくない学校」の追求
・白石きぼう学園 教頭 佐藤由香
研究主任 一條亜紀子

【第三部】 一パネルディスカッション—

多様な学びの現場から、「教師の今、そして、これから」を考えます！

- パネリスト
・岩手大学教育学部准教授【本山敬祐】
・白石きぼう学園保護者【長谷川美香】
・白石きぼう学園校長【我妻聡美】
・白石市立大鷹沢小学校教諭【坂田理恵】
モデレータ
・宮城教育大学大学院教授【久保順也】

会場

白石市文化体育活動センター

【ホワイトキューブ大林組コンサートホール】

〒989-0218 白石市鷹巣東2-1-1

日付

令和7年2月4日（火）

時間

受付 14:00～

シンポジウム 14:30～16:45

参加方法

対面・オンライン

参加費 無料

申込

応募フォーム

<https://forms.gle/WLAinva6JZjWxDNq9>



締切 令和7年1月23日（木）

主催：宮城県白石市教育委員会
共催：白石市・白石市校長会
後援：宮城県教育委員会

連絡先

〒989-0292 白石市大手町1-1

TEL.0224-22-1342 FAX.0224-22-1345

担当：学校管理課

山田・星

プログラム

(敬称略)

2025年2月4日(火)

14:00 受付開始・オンライン招待

14:30 オープニング

■主催者挨拶

半沢 芳典(白石市教育委員会 教育長)

14:35 第一部 基調講演

■「きぼう」をつむぐ教師たち

本山 敬祐(岩手大学教育学部 准教授)

15:25 第二部 実践発表(文部科学省:学びの多様化学校の教育の充実に関する調査研究委託)

■「学校らしくない学校」の追求

佐藤 由香(白石きぼう学園 教頭)

一條 亜紀子(白石きぼう学園 研究主任)

15:40 休憩

15:50 第三部 パネルディスカッション

■「教師の今、そして、これから」を考える

・パネリスト

本山 敬祐(岩手大学教育学部准教授)

長谷川 美香(白石きぼう学園保護者)

我妻 聡美(白石きぼう学園校長)

坂田 理恵(白石市立大鷹沢小学校教諭:白石きぼう学園実地体験研修者)

・モデレータ

久保 順也(宮城教育大学教職大学院教授:白石きぼう学園学校運営協議会委員)



会場(ホワイトキューブ)



佐藤 由香



一條 亜紀子



本山 敬祐



長谷川 美香



我妻 聡美



坂田 理恵



久保 順也

16:35 クロージング

■講評

宮城県教育委員会

★Guest Panelist & Moderator Introduction



本山 敬祐 様

岩手大学教育学部附属
教育実践・学校安全学研究開発センター
准教授

2020年4月より現職に就かれております。不登校への社会的・政策的対策を通じた不登校対策の変容や公教育の在り方について、主に教育行政学の視点から調査研究を行い、白石きぼう学園には開校当初より継続的に調査研究を行っています。



久保 順也 様

宮城教育大学大学院教育学研究科
高度教職実践専攻 教授

2022年4月より現職に就かれております。臨床心理学、カウンセリングを研究領域とし、宮城県教育委員会「学校以外の場で学ぶ児童生徒を支援するための連携に関するガイドライン」に係る検討会委員長を務めるなど、いじめ・不登校問題等の分野の第一線で御活躍されております。